

1事例目	2事例目
<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活:たんぱく質をとれたら。長男にも協力してもらおう。</li> <li>・運動:記録の習慣があるので、その記録の表に運動の項目を追加してみる。数字で確認できるように。まめな方なので、そこをうまくできたら。</li> <li>・携帯の運動機能を使って目安を作って運動してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・転倒リスク軽減の為、家で過ごせる環境を整える→見えなくなっても移動等できるよう事前に練習する。</li> <li>・輪郭は見える→段差の境目にコントラストをつけてリスク軽減。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民センターの食堂にさそってみる。</li> <li>・地域食堂に参加し交流を図る。</li> <li>・地域の方からの声掛けがあればつながってくるのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活リハビリとしてOTにアドバイスを受けて住環境みてもらう。</li> <li>・意欲の面:点字を覚える→意欲向上</li> <li>・社協で音声図書を借りる等、生活の楽しみを見つけて増やせば、意欲向上につながるのでは。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬を減らしてみる？</li> <li>・病院好きで薬も自己管理できている。今度難しいようであれば薬剤師が介入することが出来る。</li> <li>・「息子に迷惑かけたくない」「健康に過ごしたい」との思いがある。温厚で几帳面な性格の様子。やると決めたらやる方→自分のための料理ではなく、息子さんの好きな料理を作りませんか？と提案してみる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚以外の他の五覚を楽しむ→他の料理、コーヒーetc</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・義歯の管理、歯科受診</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飲み間違えて落ち込む前に、飲みづらくなったら薬剤師に相談する。</li> <li>・現在は病院ごとに一包化→すべての薬を一包化してもらう</li> <li>・凸凹のシールを貼ってもらうなど、薬の判別ができるよう工夫</li> <li>・目薬:色の判別が出来なければ、容器の形を工夫。メーカーによって形に特徴有り！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬を減らす。薬が多いので調整(見直し)してみてもどうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分で買って食べることは出来ているので、今後も続けてほしい。その為に歯科受診し、義歯をあうものに変えて、食べる楽しみを！</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・おひとりさまが好きな方、楽しめる、幸せを感じる方。→愛犬、長男との活動が社会的活動。現状でもすでに楽しんでる…?! 愛犬との生活、息子との生活が幸せなのではないか。</li> <li>・したい事はもうやりつくしたからない→投げやりではなく、やりきった！という満足。今が本人にとって幸せ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・カラオケに興味があるようなので、可能なら出掛けてほしい。一応、近所にカラオケボックス有。徳山駅付近のはカラオケお友だち募集のチラシも見たことがある。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・奥さんとの関係性が良好で楽しかった思いがあり、本人の中にはやりつくした感がある為、本人の気持ちが地域に向いてないのではないかな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今どれくらい楽しい生活をしていますか？</li> <li>今どれくらい幸せな生活をしていますか？</li> <li>病気になるっても、目が悪くなっても→チャレンジしている。好きなことをしている！今も！！</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運動の場としては基幹型の集いの場があるので参加されてはどうか(月～金)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>愛犬と散歩に行く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>点字を覚える。</li> <li>ヘルパーを利用して食事を作ってもらおう。香りのある物を楽しむ。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長男や愛犬を大切にしておられるので、長男や愛犬のために何かする。</li> <li>・他者との関わりはあまり望んでいないと記載されているが、デイケア週2回は休まず利用されているので、本人にとって居心地の良い場所になっているのではないだろうか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神障害者の集まりへの参加だけでなく、視覚障害者の集まりに参加してみる。</li> <li>・ラジオを日頃聞いているそうだから、リスナー投稿してみる。</li> </ul>

<p>愛情深い方なので、自分のためというよりは長男や愛犬が喜ぶためにしたいこと、できることを視点にアイデアを出すのも良いと思う。</p>	
	<p>興味関心チェックシートの「歌を歌う・カラオケ」をしてみたいに○がついているので、他の方が提案されていたカラオケボックス以外に、市民センター等で実施している声楽クラブ等も良いかなと思った。また、家でカラオケができるゲーム(遊び道具)・アプリ等を活用して、自宅や本人の行きやすい場所に友人と集まって歌を歌うのも良いかなと思った。</p>
<p>愛犬を大切にしておられることから、ドッグヨガのように自宅で愛犬と一緒に楽しめる運動を日々の生活に取り入れてみてはどうだろうか。</p>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・犬好きが集まるペット交流会への参加</li> <li>・公民館などで造船技術を活かしたミニチュア船づくり講座などの講師役(役割)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚障害者の方の交流サービス、外出支援サービス</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・無理に関わりを増やそうとするのではなく、愛犬や息子との関わりを増やす→例えば、愛犬の記録を残す。パソコンが得意とのことでSNSやブログ等で発信してみる。息子と食事を一緒に囲めるよう時間を調整する。</li> <li>他の方の意見で、意欲低下で自分からの発信や関わりが難しい場合、地域の人や周りの人から声掛けをしたり関わりを持つアプローチをするという提案になるほどと思った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・網膜色素変性症と診断されほぼ見えなくなり、今は光や輪郭がわかる程度であるという状況…高齢者になってからの視覚障害で不安や苦痛が大きいのではないかなと思う。症状が進みますますの視力低下も懸念されるので、同行援護の申請が通ることを望む。</li> </ul>
	<p>この地域はカラオケ喫茶が何店舗もあり皆がそこで練習を重ねてカラオケ喫茶主催の音楽祭や地域のイベントに参加されている。自分が担当している要支援1の方も週1回一人で歩いてカラオケ喫茶に行き、発表会に出られていた。同年代の方が多く、発表会への参加を目標にするのも楽しみになると思う。</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自宅内で行える運動や体操の提案</li> <li>・手すり等の設置アドバイス</li> <li>・リハ職同行訪問の提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護でカラオケに行く(歌詞を耳元でささやいてもらう)</li> <li>・視覚障害者の卓球に参加する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・配食サービスについて、バリエーションが増えることより楽しみが増えると思う。可能であれば前日または前の週にいくつかのメニューから選択できると良いかなと思う。</li> <li>・個人がやってみたい事、人をマッチングできるようなシステムや資源があれば良いと思う。</li> <li>・初めての場所、店に行くというのはハードルが高くなるというか、自分に置きかえても少し身構えてします。今回の会議で挙げた同行援護や地域の方の援助をうまく利用していけると良いかなと思う。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子犬に一芸を覚えさせるのを目標に(楽しみに)して生活する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操に行く。</li> <li>・散歩や買い物と一緒にしてもらえるボランティアを探す。</li> <li>・文字(メール)が書けるなら、ラジオに投稿して楽しむ。視覚障害者のための投稿方法があるよう(音声入力アプリなど)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドッグカフェのような犬好きが集まれる居場所づくり</li> <li>・家事を担う男性が話せる場所づくり</li> <li>・商業施設で百歳体操</li> </ul> <p>生き切った人生のようなので、望むこともないようなら、困ったときに声をかけてもらうように適度な距離感で関わる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同行援護ができる事業所の拡大。受診時は待ち時間を抜いてヘルパー事業所は時間のカウントをしているが、それでは事業所側の時間拘束が長く、同行援護を行う事業所が減ってしまうため、待ち時間も必要時間としてカウントできるような制度整備が必要だと思う。</li> <li>・ボランティアによるお出かけ支援</li> <li>・視覚障害者の集いがあるといい。</li> </ul>
<p>栄養に関する課題が挙がり、自分自身がサービスや支援の方法の知識の薄さを感じた。対象者の興味を持てただけのような情報や地域の食事会等の情報がより周知しやすい環境になれば良いと思った。また、何らかの行動(今回の事例では買い物に行った際や通所・外出時など)をきっかけに改善したいという意欲を引き出せるような支援や情報の提示ができるようにしたいと思った。</p>	